

# 令和3年春季全国火災予防運動

火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的として令和3年3月1日(月)から3月7日(日)までの一週間、全国一斉に「春季全国火災予防運動」が実施されますので、次の点に注意しましょう。

## 住宅防火 いのちを守る 7つのポイント(3つの習慣・4つの対策)

- 3つの習慣**
- 寝たばこは、絶対やめる。
  - ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
  - ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

- 4つの対策**
- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
  - 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
  - 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
  - お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

## 全国統一防火標語

# その火事を 防ぐあなたに 金メダル

【お問い合わせ】田辺市消防本部 予防課 TEL:0739-26-9954

例年冬から春にかけて、山では枯葉が多くなることに加え、空気の乾燥や強風が吹くことから、山火事が発生しやすい時期となります。長野地域は山に囲まれており、これから暖かくなるにつれ、山に入る機会も多くなりますが、特に、空気が乾燥している日や風が強い日にはたき火や野焼きをしないなど、火の取り扱いには十分注意しましょう。

■長野公民館区統計情報  
(令和3年 1月末)  
人口:645(前月比:-1)  
世帯数:330(前月比:±0)

# 長野公民館だより

館長 那須 勝美 主事 橋 亜門  
事務所:田辺市中三栖805番地 三栖コミュニティセンター内

TEL:(0739)34-0022

FAX:(0739)33-0836



## スマホの使い方講座 開催!

日時:3月19日(金)  
10時~11時30分

場所:三栖公民館

定員:先着6人

申込期間:3月8日(月)~3月12日(金)

※お申込みは、上記期間中に、公民館へお電話をいただくか、直接窓口へお越しください。

参加費  
無料!!

スマホの基本操作  
(ボタン操作、電源の入切、タップ・スライド・戻る、マナーモード)  
写真の撮り方 (写真を撮る、ピントを合わせる、ズーム)  
LINEについて (基本操作、友達登録、メッセージ送信、LINE通話)

こんな方に  
オススメ!

・写真の撮り方がわからない方  
・LINEを利用したことがない方

### 新型コロナウイルス感染症対策について

- ◆受付でアルコール消毒をし、体温を測らせていただきます。◆マスクを着用しご参加ください。
- ◆参加者同士の間隔を空けて行います。◆会場の換気、室内温度には注意を払います。
- ◆スタッフは、マスクを着用し、参加者のスマホに触れないようにタッチペンを使用します。
- ◆使用する物は、事前に消毒します。

問合せ:◇三栖公民館 TEL:34-0022

## ☆移動図書館 日程

| 日時                    | 場所       |
|-----------------------|----------|
| 3月23日(火) 9時30分~10時10分 | 東原多目的集会所 |

# 長野地域の文化財

みなさんは長野地域の文化財をご存知でしょうか？地元の方でも意外と知らない方もいるのではないのでしょうか。そこで、私主事の勉強も兼ねて、今月号から長野地域にある様々な文化財を少しずつ紹介していきたいと思います。

## ①長野八幡神社

まず初回は、みなさんもお存知であろう長野八幡神社について紹介していきます。長野八幡神社は、源平合戦において屋島での扇の的を射落とした那須与一によって鎌倉時代に創建されたと言われてますが、実際は那須貞守が創建したものだそうです。創建当時の由緒ある品々は盗難にあい無くなったと記録されているようです。また、八幡神社はもともと違う場所にありましたが、明治時代22年に、左会津川の氾濫によって流されてしまい、現在の場所に再建されたそうです。



水害後現在の長野八幡神社の社殿がいつ移転、再建されたのかは不明です。社殿は流されたので、浄財を集め、高台の現在地を整地してから数年後に造ったものと言われています。

また、例年社殿前で奉納される住吉踊は、神社の祭礼の神事として昔から引き継がれ、県の無形文化財に指定されています。八幡神社の境内の案内板には「青年二十三名により奉祀され、音頭取りの太鼓にあわせ、笹と扇を持つ踊子が歌いながら踊舞する古色豊かな芸能である。」と記されています。



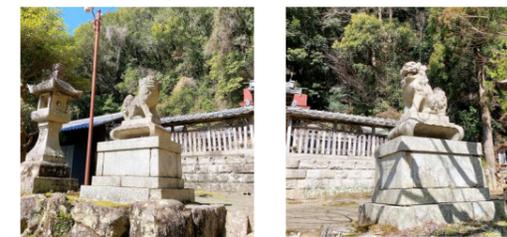
なお境内には忠魂碑、水難記念碑等が建っています。忠魂碑は大正10年9月22日に、水難記念碑は昭和9年2月25日に建立されています。忠魂碑は日本が日露戦争に勝利し、続いてヨーロッパではドイツ・オーストリア同盟軍と英国・フランスをはじめとする連合軍との間で戦われた第一次世界大戦が終結、ベルサイユ条約が締結され、大正時代に入って全国各地に忠魂碑建設ブームが起きた際に造営されたそうです。水難記念碑は明治22年8月の大水害の修復工事もほぼ完了したのを機にこの未曾有の大水害を忘れまいという意味が込められたものと思われています。



雨天の際には、神社脇の社務所にて住吉踊や獅子舞が奉納されます。昔の社務所は現在とは異なる場所にあり、道路拡張のため社殿と並んで現在地に移築されました。その後、老朽化が進んだため、多くの関係者の方々の努力により、新しく立て替えられました。また、狛犬も、以前は県道脇の鳥居に続く石段の左右に置かれていましたが、県道が拡張された際に、境内の本殿前の石段脇に移し替えられました。

元の長野八幡神社の狛犬は水害時に流されたものと思われ、現在地にある狛犬は無傷であるため、現在地に移築した際新たに造られたものと思われています。

ちなみに狛犬は中国では石獅子と云われており、唐の時代に中国から伝来したとされています。対になったのは平安時代だそうです。一般的に、獅子・狛犬は向かって右側の獅子像が阿形で口を開いており、左側の狛犬像が吽形で口を閉じています。狛犬が置かれた理由として守護獣あるいは魔除け用とされています。



みなさんいかがだったでしょうか。長野八幡神社は非常に身近な文化財なので、もしかしたら知っていることばかりだったかもしれません。私がもっと長野地域を知るためにも、今後このように長野地域の文化財に足を運んで、得た知識を掲載できたらと思っています。文化財に関わらずおすすめスポット等あれば教えていただければ幸いです。

引用元：森光圀『和歌山県田辺市長野地区社会史』第二版、2012